

化学肥料低減計画書

秋用肥料	春用肥料

注:該当欄に○

作付概要

作物名	作付面積(ha)
①	
②	
その他	
計	

今回申請する肥料を使用する作物のうち、取組を行う作物について記入してください。その他の作物についてはまとめて「その他」として記載し、合計欄は今回申請する肥料を使用する作物の栽培面積の合計を記入してください。

氏名(法人・組織名)

代表者名(法人・組織の場合)

住所

電話番号

- 今回申請する肥料を使用する作物の全作付面積のうち半分以上を占める作物があればその作物、半分以上の作物がない場合は、栽培面積の多い2品目で取り組む必要があります。
- 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付けてください。取組面積は作付の一部でもかまいません。
- 「令和4年度又は令和5年度の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。環境こだわり農産物の認証を受ける場合は、他の取組がなくても構いません。

取組メニュー	前年度までの取組		令和4年度又は令和5年度の取組	
	作物名①	作物名②	作物名①	作物名②
環境こだわり農産物の認証				
ア 土壌診断による施肥設計				
イ 生育診断による施肥設計				
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入				
エ 堆肥の利用				
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)				
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)				
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用				
ク 緑肥作物の利用				
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用				
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用				
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)				
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)の利用				
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用				
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く。)				
ソ 地域特認技術の利用()				
ソ 地域特認技術の利用()				
ソ 地域特認技術の利用()				

私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料(肥料費)について以下のとおり、確約します。
また、申請した内容について、県および関係市町の独自支援のために提供することに同意します。



令和4年秋肥又は令和5年春肥として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。

※チェック欄にチェックした上で署名してください。

氏名(自署)

(注) 当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月～10月、春用肥料については令和4年11月～令和5年5月に発注したことを証明する書類(注文票等)と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類(領収書等)または支払い義務が生じていることを示す書類(請求書等)を提出すること。
なお、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。

この申請とは別の他の事業者(JA、肥料商等)を通じた申請

無し・有り

(いずれかに○をしてください) 有りの場合は取組実施者名を記入してください